

# 2022 年度

## 都市計画マスタープラン演習

F.公共施設等再編・インフラアセットマネジメント班

班員 松浦海斗 高橋慧 森下陽平 鎌田晴人 平山裕紀人

櫻井隆之介 高野駿 真谷健悟

# 目次

## 1. 公共施設

1.1 公共施設全体	3
1.2 コミュニティ・文化施設	4
1.3 保健・福祉施設	4
1.4 住宅施設	5
1.5 子育て支援施設	5
1.6 学校教育施設	7
1.7 行政施設	8
1.8 消防施設	8
1.9 交通施設	8
1.10 広場・公園施設	10

## 2. インフラ

2.1 インフラ全体	10
2.2 道路・橋梁	11
2.3 上水道・下水道・給排水処理施設	11

## 3. まとめ

## 4. 参考文献

# 1. 公共施設

## 1.1 公共施設全体

### 【はじめに】

今回、公共施設再編・インフラアセットマネジメントの課題整理に際して対象とした施設は、令和4年3月に公表された『土浦市公共施設等総合管理計画 改訂版』に従ったものとした。土浦市の公共施設保有量は、188施設、総延床面積395,101m<sup>2</sup>となっており、市民一人当たりでは、令和3年4月現在、2.87m<sup>2</sup>となっている。

### 【公共施設全体の課題】

公共施設全体の大きな課題として、将来的な財源不足が挙げられる。土浦市の直近5年間の大規模新事業を除く投資的経費が17.0億円であるのに対し、令和37年度まで全ての公共施設を維持していくと仮定すると、必要な改修・更新費は年平均31.6億円と試算されており、年間14.6億円が不足することになる。

また、近年の人口減少やニーズの多様化、施設の老朽化などの問題も浮き彫りになってきている。

### 【市の方針】

土浦市は、公共施設全体の管理に関して、「定期的な点検・診断、耐震化」、「目標使用年数や事業周期の設定」、「老朽化した施設の複合・集約化や民間委託の推進」、「適切な保有量の設定と予防保全型維持管理」という方針を打ち出している。

## 1.2 コミュニティ・文化施設

### 【対象施設】

文化施設 5ヶ所、図書館 5ヶ所、生涯学習施設 15ヶ所、スポーツ施設 2ヶ所、観光・交流施設 11ヶ所

### 【現状・課題】

#### ○文化施設

土浦市には大規模文化施設として、市民会館（現：クラフトシビックホール土浦）と亀城プラザの2つが存在している。市民会館については、令和2年に大規模改修が行われたが、亀城プラザは築30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。また、両者の利用人数は同程度であり、延床面積当たりの利用者数も他のコミュニティ・文化施設に比べ低くなっている。

#### ○生涯学習施設

土浦市には8つの公民館を含む14の生涯学習施設が存在するが、なかでも生涯学習館、四中地区公民館、青少年の家、荒川沖東部地区学習等共用施設は建築から40年以上が経過しており、老朽化が著しい。勤労青少年ホームは、元々は中小企業に働く青少年の健全育成と福祉の増進のために建てられた施設であるが、現在では法改正により設置根拠規定が廃止されるとともに、土浦市公共施設等再編・再配置計画策定にあたり行われた利用者アンケートでは40代以上の利用が80%以上を占めており、当初の利用目的とは異なっている。また、

青少年の家は、青少年の共同生活を通して健康の増進と社会的教養を高めるための施設とされているが、学校の宿泊学習の利用はなく、高齢者の利用も一定数あるように、当初の利用目的とは異なる現状になっている。このように、当初の設置目的と現在の利用状況が異なる施設が土浦市内には複数存在しており、名称の異なる似たような用途の施設が乱立する状態となっている。今後老朽化等によって施設の将来を考える際には、その施設のそのものの必要性を勘案する必要がある。

## 【市の方針】

### ○文化施設

土浦市公共施設等総合管理計画には、亀城プラザは人口動向や利用状況を考慮しつつ、施設の在り方を検討し、他の機能類似施設との集約化等を検討するとの記載があるが、令和4年現在では、具体的な検討状況などは公表されていない。

### ○生涯学習施設

令和4年度に入り、土浦市公共施設等再編・再配置計画の策定が進められており、10の対象施設について委員会を設置するなどして検討が進められている。現時点で公表されている配置方針素案では、機能の必要性や現位置での必要性、集約可能性等の観点から施設の今後について判定が行われており、例えば生涯学習館は集約・複合化・移転を検討、四中地区公民館は長寿命化を検討、青少年の家は用途廃止を検討すべきであるとの結果に至っている。

## 【指摘】

検討が進められている公共施設等再編・再配置計画で現在検討対象となっているのは、築40年以上が経過した所謂旧耐震の10施設のみである。一方で、築35年以上が経過しているコミュニティ・文化施設も9施設あり、そう遠くない未来に対応の必要性が出てくると思われ、尚更現在の検討を加速させていく必要がある。

## 1.3 保健・福祉施設

### 【対象施設】

保健施設 3カ所、福祉施設 9カ所

### 【現状・課題】

土浦市が現在保有している施設のうち2つの保健センター、老人福祉センター「湖畔荘」、つくし作業所の4施設については適切な時期に改修が行われなかったため、特に老朽化が進んでいる。福祉施設について、プールやトレーニングルームなど多様な施設を有するふれあいセンター「ながみね」の利用者数は多いが、他の施設については利用者が少ない状態が続いている。また、社会福祉施設と高齢者施設については指定管理者制度、保健施設と障害福祉施設は直営で運営されている。土浦市の高齢化率は29.29%（令和4年4月1日現在）となっており、年々上昇している。そのため、保健・福祉サービスの需要も年々高まっていると考えられる。

### 【市の方針】

土浦市は人口や利用動向を踏まえ、一部民営化なども行って延べ床面積で25%の縮減を目標としている。また、保健施設については、新型コロナウイルス対策をはじめ運営対策の充実化を行うとしている。老朽化が進んでいる老人福祉センターについては、大規模改修時や更新時に集約化などを検討するとしている。

## 【指摘】

築年数が 20 年以上 30 年未満の施設の割合が 46%と非常に高いため、一斉に老朽化して改修・更新を迫られる事態を避けるためには今後計画的に改修や更新を進めていく必要がある。また、現在老朽化が進んでいる建物に関しては集約化などを検討するというのみで具体的な対応を決定できておらず、早急に対応する必要があると考える。

### 1.4 住宅施設

#### 【対象施設】

市営住宅 14 ヶ所

#### 【現状・課題】

土浦市は現在 14 の市営住宅を保有しており、合わせて 135 棟、1201 戸になる。また、それら全てを直営で運営している。そのうち築年数 40 年以上のものが過半数を占めており、50 年を超えるものも 2 割以上存在する。特に老朽化の著しい木造住宅については現在入居の募集を停止している。また、令和 15 年度から改修・更新費が跳ね上がるため、財政が圧迫されると予想されている。入居率は平成 26 年度の 90.2%からやや減少して令和元年には 83.7%となっているが、引き続き高い状況である。

#### 【市の方針】

土浦市は、効率的に改修・更新を進めることを方針として掲げている。また、入居の募集を停止している住宅については耐火住棟への転居を促して用途廃止・除却を進め、総延床面積で 25%縮減することを目標としている。そのうえで、耐火住棟については長寿命化を図りつつ入居水準の向上を図り、入居率向上を目指している。

その他に、指定管理者制度など民間活力の導入を検討し、管理運営費の削減を図ることや、民間住宅などを活用した施策について国の制度や先行自治体の事例などを研究していくことを目標として掲げている。

## 【指摘】

将来的に改修・更新費がかなり高くと予測されているため、入居の募集を停止している住宅について、早急に入居者の転居を促して用途廃止・除却を進める必要がある。しかし、入居者の意向に配慮する必要もあり、転居に関しては具体的な施策を打ち出せていないのが現状である。また、市は令和 37 年度に供給すべき市営住宅を 780 戸と推計しており、その場合現状から 35%ほどの戸数削減が出来ることになる。しかし、市営住宅は困窮者への支援という意味合いが強いため、戸数に余裕を持たせておく必要がある。

### 1.5 子育て支援施設

#### 【対象施設】

幼稚園 1 ヶ所、保育所 6 ヶ所、児童館等 8 ヶ所、児童クラブ等 16 ヶ所

#### 【現状・課題】

○幼稚園

現在運営されている公立幼稚園は土浦幼稚園の1ヶ所のみで、これまでに4ヶ所の公立幼稚園が廃止された。土浦幼稚園は今年度中に一旦閉園され、改修後は私立認定こども園土浦幼稚園として存続する。土浦市公共施設跡地利活用事業により跡地利活用の公募がされ、廃止された土浦第二幼稚園と大岩田幼稚園の跡地はこの事業により利活用事業者が決定したが、都和幼稚園跡地は未だ買手の候補が見つかっていない。また、令和2年度末に廃止された新治幼稚園跡地について土浦市からは何の方針も示されていない。

#### ○保育所

公立保育所民間活力導入実施計画の前期計画に基づいて4ヶ所の保育所が民営化された。今後は現存する5施設のうち中央地区、北部・新治地区、南部地区にある3施設を残し、残りの2施設のうち1つは今後整備予定の認定こども園土浦幼稚園に機能を移管する予定である。もう1施設は公立保育所民間活力導入実施計画の後期計画において民営化を計画している。民営化しない公立保育所に関しては特段の事情がない限り今後は維持される方針である。1つ目の課題は老朽化であり、荒川沖、霞ヶ岡、東崎、神立保育所は築後40年以上、天川保育所は築後30年以上と老朽化が進んでいる。災害時には子育て家庭の受け入れ先や応急保育の場になるため安全性の確保は重要である。また、公立保育所の入所率低下も課題となっている。理由としては0歳児保育の有無、土曜の開所時間が短いこと、保育士不足、施設老朽化などが挙げられる。特に保育士不足については本計画の前期計画によって平成28年以降正規職員を採用していないことや職員の休業に代替する職員が適切に配置できていないことが影響している。

#### ○児童館等

児童館等利用者数は減少傾向にあり、平成26年には75,419人いた利用者が令和元年には68,886人まで減少している。都和児童館（築後48年）や新治児童館（築後39年）は老朽化が進んでいる。

#### ○児童クラブ等

児童クラブは1つの小学校につき1つの児童クラブが併設されている。児童クラブの月平均登録者数は増加傾向にあり、平成26年の1,210人から令和元年には1,628人まで増加している。

### 【市の対策】

#### ○幼稚園

公立幼稚園のニーズが減少していることを受けて市立幼稚園は今年度をもって廃止される予定となっている。

#### ○保育所

複雑な家庭環境や重度の障害を持つ子供など民間では対応が困難な子供たちに対して医療機関や児童相談所など関係機関と連携して対応していく。

#### ○児童館等

新治児童館は隣接する山ノ荘小学校の廃校に伴って施設の移転・廃止及び代替事業が検討されている。

#### ○児童クラブ等

令和6年までに全小学校で放課後こども教室を実施するのにあわせて児童クラブも一体化していく。そのために余裕教室の活用や児童クラブの開所時間の延長を検討している。

### 【指摘】

女性就業率の向上や働き方の多様化が見られる現在、様々なニーズに対応できる保育体制を整える必要があるだろう。今年の7月末に土浦市の認可外保育施設で生後7ヶ月の幼児死亡する事故が発生した。土浦市はこの施設に事故前までに3度立ち入り調査を行っていたが、改善は見られずこのような事故が発生した。そのため、夜間も安心して子どもを預けられるように一定の基準を満たした夜間保育の認可を取得している保育施設が必要

だと考える。

## 1.6 学校教育施設

### 【対象施設】

小学校 15 校、中学校 7 校、義務教育学校 1 校、教育施設 2 ヶ所

### 【現状・課題】

少子化によって小学校の児童が減少しており、特に、学級数が1学年1クラスになっている小学校では、茨城県教育委員会からも指針が示されているように学級数が減少したことでクラス替えが出来ないことや人間関係の固定化が進み、教育環境の悪化が進んでいる。さらに、多くの小学校では建物の老朽化が目立ってきている状況になっている。

### 【市の方針】

土浦市の方針として土浦市立小学校適正配置実施計画（H25）において次の小学校の再編が推進され、多くの学校が閉鎖、統合された。

このように多くの小学校などが統合されてきており、小学校の効率化が進んでいくことになる。小学校が統合されていく中で市内では多くの課題が発生すると考えられる。

特に、上大津西小学校、菅谷小学校、上大津東小学校の統合は上大津地区内の大部分を占める大きな統合になり、効率化によるコストの削減が期待できるとともに学区の拡大や学校の跡地利用などの課題も発生してくることが予想される。

そのような課題に対する土浦市の対応として、学区の拡大による児童の安全確保や、負担軽減策としてスクールバスの運行がある。統合後は関係者による協議、検討の上、運行方法などが決定する予定になっている。また、児童に対する統合前・後のケアについては事前交流事業、学校見学会などの実施。不安や悩みを抱える児童に対して相談対応などを行う教員、非常勤講師の配置を進める予定になっている。

学校跡地利用については利活用方法の検討を進めている。市内で廃校となった小学校の1つである穴塚小学校の跡地は『適応指導教室「ポプラひろば」になり、グラウンドや体育館も市民のスポーツ振興のための活動場所として開放されている。また、斗利出小学校跡地ではサウンディング型市場調査も行われており、跡地活用に向けた取り組みがなされていることが分かる。

### 【指摘】

上大津地区の小学校跡地の活用は老朽化した建物を用いることになるため、課題が残る。また、将来的に、他地域の小学校の統合もあり得るか気になった。また、廃校前の藤沢小学校では授業ではそばの収穫や蚕の飼

10年以内に閉鎖、統合される小学校・中学校

以前の小学校・中学校	閉鎖、統合された年	統合後の学校
土浦小学校	→ H26	土浦小学校
穴塚小学校		
藤沢小学校	→ H30	新治学園義務教育学校
斗利出小学校		
山ノ狂小学校		
新治中学校		
上大津西小学校	→ R2	菅谷小学校
菅谷小学校		
上大津東小学校	→ R9（予定）	土浦第五中学校付近 に建設予定

育が行われていた。そのような地域の資源を活かすことが出来るのではないかと考える。

## 1.7 行政施設

### 【対象施設】

庁舎等 15 ヶ所、旧施設 10 ヶ所

### 【現状・課題】

行政施設のうち庁舎が4ヶ所、支所・出張所が5ヶ所であり、これらの施設は老朽化が進んでいて、床面積で見ると築20年以上の割合が他施設よりも大きい。

### 【市の方針】

支所、出張所については公民館などのほかの公共施設への機能移転や複合化による施設の統廃合を検討している。現在利用されていない旧庁舎や旧出張所については、平成27年の土浦市公共施設跡地利活用方針の中で転用、または貸与・売却を進めるとしている。策定後に廃止された施設についても同様の対応を検討している。

### 【指摘】

多くの旧施設で、跡地利活用が実施できていない点が問題である。例えば旧市役所本庁舎では、平成29年度立地適正化計画で、「転用または売却を基本とする」としていたが、未だ手つかずの状況である。その原因は、一つは地方自治法において、行政財産の扱いが規定されていることがあると考える。加えて、施設自体の老朽化により、活用にあたって必要な改修のコストが大きく、誰も手を付けたがらないのも原因となっていると考える。また、現在使われている行政庁舎も、長期的な計画との整合性をとりながら配置や役割を変えていく必要がある。

## 1.8 消防施設

### 【対象施設】

消防署5ヶ所、分団車庫38ヶ所

### 【現状・課題】

現在は土浦市田中町に消防本部があり、ほかに荒川沖、神立、新治に1ヶ所ずつ、さらに土浦に南分署の計5ヶ所の消防署を保有している。消防本部は平成28年に亀城公園そばの文京町から移転し、西並木町にあった並木出張所を平成29年に廃止して統合された。並木出張所は解体済みであり、旧消防本部は隣接する警察署への用地転換等を検討中である。また、分団車庫と消防署と合わせた施設数は市内の公共施設の23%を占め、最も多い。令和2年度市民満足度調査では施策の満足度について「消防・救急の整備」が全53項目中1位で、さらに前回調査よりも高い評価となっている。

一方で、荒川沖消防署、神立消防署は平成24年度に改修工事を実施しているものの、いずれも築40年超である。消防本部を除く他2署も築30年超であり、老朽化が進んでいる。消防施設全体では、消防本部の移転に伴い、経過年数別延床面積をみると57%が10年未満であるものの、築40年以上の延床面積も2割を超えている。また、年間支出は約20億円であり、行政施設の次に多く、償却が進んでいる傾向にあるため、コスト面で重荷となっている。



## 【市の方針】

消防署は各地域に分散して配置されているものの、分団車庫には地域的な偏りが見られる。例として、おおつ野地区では周辺に消防署や分団車庫が存在しないため、大規模災害発生時の公助機能が手薄になる可能性が考えられる。市では分団車庫について、老朽化した施設の更新時に人口動向を踏まえた消防団の再編等を契機として、地域バランスに配慮した施設設置を検討するとしている。また、地域防災サポーター育成事業や地域防災倉庫整備事業など、ソフト面・ハード面の両方の整備を推進している。

## 【指摘】

消防・救急の整備体制は良好であり市民からの満足度も高いものの、多額の公的資金が使用されているため、ニーズと支出のバランスを検討する必要があると考える。

## 1.9 交通施設

### 【対象施設】

駐車場 6ヶ所、自転車駐車場 8ヶ所

### 【現状と課題】

土浦市では土浦駅周辺に4ヶ所、荒川沖駅前に2ヶ所の駐車場を保有している。駐車場のうち特に規模が大きいのが土浦市駅東駐車場と土浦市駅西駐車場であり、駐車可能台数はそれぞれ1155台、467台の立体駐車場である。価格設定は他の市営駐車場が1時間あたり100円なのに対し、これらの駐車場は30分100円・24時間1000円である。24時間料金については1500円から1000円に改定が行われたが、駅付近で屋根付きという特徴があるものの、駐車料金としては周辺で最大級である。なお、公共施設の利用割引等が用意されている。駅前の立体駐車場の稼働率はコロナ禍以前より低い状態が続いており、定期駐車は安定した利用があるものの普通駐車場の利用が少ない状況となっている。しかしながら、コロナ禍により利用率が低迷しているものの、いずれの駐車場も収支比率は100を超えており、安定した収益を維持している。一方で、改修工事や新硬貨・紙幣に対応する精算機の導入などで年間200万円程度が必要とされているほか、今後大規模修繕の必要な時期を迎えるため、財源の確保が必要とされている。

駐輪場については土浦駅周辺に7ヶ所、神立駅前に1ヶ所（現在工事中）を保有している。多くの市営駐輪場は利用率が80%を超えているが、土浦駅の東口と西口ともに、最も駅から離れている駐輪場の利用率は50%を下回っている。価格は一律で150円/回・日である。荒川沖駅前については無料の駐輪用地が用意されており、市内各駅において駅周辺で路上駐輪禁止地区が指定されている。

## 【市の方針】

駐車場に関しては市としては今後、価格設定の更なる見直しや指定管理者制度を導入することにより、サービスの向上や行政コスト削減を図ることを検討している。また駐輪場に対しては、民間駐輪場も合わせた駅周辺駐輪場の利用率は土浦駅周辺が約7割、荒川沖駅周辺が約5割、神立駅周辺が約7割であり、いずれも余裕がある。しかし、放置自転車の撤去台数が増加傾向にあり公共空間の安全確保や景観保全のため、市では引き続き放置自転車の撤去活動を実施するとともに、駐輪場の利用促進に向けた広報を行うとしている。

## 【指摘】

駐輪場に関しては駅から離れた市営駐輪場の利用率が低いことに対して、土浦駅中にあるプレイアトレの地下駐輪場が1時間無料/10時間110円であるなど、用途によっては民間駐輪場の方が割安であるため、立地に応じた価格の見直しが必要であると感じる。

### 1.10 広場・公園施設等

#### 【対象施設】

都市公園 52ヶ所、農村公園等 2ヶ所、運動広場 7ヶ所

#### 【現状・課題】

平成27年の土浦市民満足度調査において都市づくりにおける「公園、子どもの遊び場の整備」の項目での重要度は最大を5、最小を1として4.09（H27）→4.13（R2）になっており、以前より市民から必要とされている公共施設になっていると考えられる。ただ、このような状況であっても満足度は2.86（H27）→2.84（R2）になっており、恒常的に低い状態であるため、大きく改善させる必要があると思われる。また、子どもの遊び場の整備は子育て環境にも直接的にかかわってくる項目になっているため、子育て支援や学校教育の面にも影響が及ぶ。

#### 【市の方針】

土浦市では、『土浦市公園里親制度』を導入しており、市内の都市公園におけるボランティア活動を推進させている。里親の活動としてはゴミ拾いや除草などの環境美化や施設等の破損に対する市への連絡などを行っている。そのため、公園整備が不十分になることは少なくなっていると考えられる。また、土浦城の跡地になっている亀城公園では霞門の改修工事を行っており、公園施設の維持も努めている。このように文化施設を維持していくことで良い環境を整備し、公園の満足度を改善させる効果があると考えられる。

## 【指摘】

『土浦市公園里親制度』は現状ではボランティアに頼る構造になっていたため、ボランティアが不足した際に公園の環境を維持していくことが難しくなる。また、子どもの遊び場がどのようにして改善されるかわかりにくい。

## 2. インフラ

### 2.1 インフラ全体

#### 【はじめに】

土浦市では道路・橋梁のほかに、公園・広場、駐車場・駐輪場、上下水道施設等のインフラ施設を合計106保有している。道路の実延長は全体的に増加傾向であり、上下水道の整備状況も増加の傾向が見られる。

#### 【インフラ施設全体の課題】

全体の大きな課題として、老朽化の進行に伴う改修・更新費の増加が挙げられる。直近5年間の投資的経費は

年平均 46.1 億円なのに対して、今後 34 年間の改修・更新費が年平均 78.3 億円と想定されており、財政状況が厳しい中で改修や更新が必要となっている。費用負担額を縮減するために各施設の長寿命化と、事後保全的な対応から予防保全的な施設管理への転換を進めるとともに、ユニバーサルデザイン化を図りながら施設の安全性や耐久性の向上を進めていく必要がある。さらに、台風や洪水、大地震が発生した際に適切に対応が可能で最低限のライフラインが確保できる施設の整備が求められている。今後人口減少の加速と改修・更新費の増加が見込まれるのに対して、市はインフラ施設の総量縮減は困難であるものの縮減の可能性を検討するとしている。

## 2.2 道路・橋梁

### 【現状と課題】

道路の実延長は、平成 26 年度と比べて一級市道、二級市道及びその他の市道のすべてが増加しており、令和元年度の整備率は 33.6%となっている。インフラ施設の投資的経費のうち、道路は平成 29 年から減少傾向にあるが、橋梁は平成 28 年から増加傾向にある。しかし、戦後の高度経済成長や自動車交通の発展などを背景として整備された施設が多いことから、現状のままでは大幅な改修・更新コストの増加が予測される。今後、老朽化や人口減少に伴う利用やニーズの変化が見込まれるが、すでにネットワーク化された施設を面的に縮減していくことは難しい。また、道路空間などでもユニバーサルデザイン化を図っていくことが求められる。

### 【市の方針】

市内でのスプロール現象や郊外型店舗の増加による交通混雑、渋滞、騒音、排気ガスなどの都市交通問題が発生している中、総合的な交通体系の構築や厳しい財政状況下での効率的な整備施策が求められる。

#### ・橋梁長寿命化修繕計画

計画的かつ予防的な修繕を行い、橋梁の長寿命化を図り、老朽化する橋梁の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行う。全管理橋梁 241 橋のうち、橋長 15m 以上の橋梁および重要路線に架かる橋梁 79 橋を対象とし、橋梁の健全度(損傷程度)と重要度(市街地区分、交通量)を考慮して補修の優先順位を決定している。

#### ・道路新設改良事業

幹線道路の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭い市道の拡幅工事、舗装工事、交通安全施設工事等を計画的に進めることにより、道路機能の向上と自然体の道路網確立を図る。

#### ・民間委託

JR 常磐線に架かる「常磐線 3 号橋」の架け替えと、「常磐線 4 号橋」の撤去を計画しており、それぞれの工事を JR 東日本水戸支社に委託する。

### 【指摘】

道路・橋梁に関しては、厳しい財政状況からかけられる予算は減少していくと考えられる。道路も橋梁も市民の生活にとって必要なものであるため、安全性の確保は前提としつつ、長期的に維持していけるように効率的な施策を打つ必要がある。例えば、ICT 技術の活用である。道路分野においては、パトロール車両に道路の損傷程度を判断するカメラを搭載することなどである。土浦市は、ICT 社会への対応を掲げ、いくつかの事業に取り組んでいるが、インフラ整備に関して新技術の活用がみられない。このような効率性向上に貢献する施策が打ち出されていないことが課題となっている。

## 2.3 上水道・下水道・給排水処理施設

## 【対象施設】

配水場 4 ヶ所、ポンプ場 10 ヶ所、農業集落排水施設 6 ヶ所

## 【現状・課題】

令和 2 年度版土浦市水道事業会計決算審査意見書によると、土浦市の給水人口は 134,454 人で、前年度に比べ 280 人減少している。一方で、給水件数 62,909 件で、こちらは前年度に比べて 354 件増加している。

農業集落排水事業については、利用人口が減少する一方、老朽化により更新・修繕が必要であるというのが現状である。土浦市は、維持管理の効率化を図り、利用料金の値上げを検討しているとしている。

## 【指摘】

工業用使用や団体及び営業使用が減少して営業収益が減る一方、昭和 50 年以降に多く敷設された配水管が順次耐用年数を迎え、更に配水場なども順次更新していかななくてはならない状態になっている。また、給水世帯数や給水量は増加しているにもかかわらず、収益はあまり増加していない。現在の経営が純利益的には毎年黒字と安定した経営状態を維持しているものの将来的には厳しくなると予想され、経営基盤・財務体質の強化が求められている。同資料によると、下水道にも同じことが言えるため、健全な経営が求められる。

農業集落排水事業は、改修工事のために、令和 4 年度から地方債を発行することが計画されており、市の財政の圧迫になると考える。

## 3.まとめ

多くの公共施設・インフラ施設に共通する課題として、建物の老朽化やそれに伴って廃止された施設の跡地活用、効率化のための民営化の推進などが挙げられる。それに対して土浦市はこれまでも様々な対応方針を打ち出してきたものの、実際には改修や更新が適切に行われてこなかったことや集約・複合化が進んでいないこと、民営化の担い手が決まらないことなど、問題は山積みである。将来的に費用が不足すると推計されているため、施設運営の適正化を早急に行う必要がある。

## 4.参考文献

- ・土浦市 | 令和4年度予算の概要  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1645509956\\_doc\\_159\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1645509956_doc_159_0.pdf)
- ・土浦市公共施設等総合管理計画 改定版  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1645678880\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1645678880_doc_3_0.pdf)
- ・土浦市橋梁長寿命化計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1348704303\\_doc\\_30\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1348704303_doc_30_0.pdf)
- ・土浦市立小学校適正配置実施計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1369012787\\_doc\\_40\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1369012787_doc_40_0.pdf)
- ・土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1607933801\\_doc\\_40\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1607933801_doc_40_0.pdf)
- ・土浦市 | 適応指導教室「ポプラひろば」  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page000189.html>
- ・全日本不動産協会茨城県本部 斗利出小学校跡地に関するサウンディング型市場調査の実施について  
<https://ibaraki.zennichi.or.jp/wp-content/uploads/sites/8/2021/06/4ae41e77707525bd9a7abb6b4513423.pdf>
- ・土浦市 | 土浦市公園里親制度  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page008952.html>
- ・土浦市 | 亀城公園内の一部通行止め  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page017640.html>
- ・土浦市駐車場整備事業経営戦略  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1622181320\\_doc\\_217\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1622181320_doc_217_0.pdf)
- ・土浦市自転車のまちづくり構想  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1584316211\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1584316211_doc_3_0.pdf)
- ・土浦市公共施設跡地利活用方針についての提言(案)  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1434344644\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1434344644_doc_3_0.pdf)
- ・土浦市民満足度調査報告書 令和2年度  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1622685282\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1622685282_doc_3_0.pdf)
- ・土浦市 | 令和3年度 3ヵ年事業実施計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1659605664\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1659605664_doc_3_0.pdf)
- ・土浦市 | 自転車駐車場(駐輪場)  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page004453.html>
- ・土浦市立地適正化計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1490946795\\_doc\\_34\\_1.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1490946795_doc_34_1.pdf)
- ・藤沢小学校日記 | ふじさわ自慢  
[http://www.tsuchiura.ed.jp/~fujisawa/nc/html/htdocs/?page\\_id=23](http://www.tsuchiura.ed.jp/~fujisawa/nc/html/htdocs/?page_id=23)
- ・令和2年度版土浦市水道事業会計決算審査意見書  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1633416440\\_doc\\_50\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1633416440_doc_50_0.pdf)
- ・土浦市 | 水道料金について  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1569566293\\_doc\\_33\\_1.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1569566293_doc_33_1.pdf)
- ・つくば市 | 上水道の料金  
[https://www.city.tsukuba.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/000/883/ryoukinhyou10.pdf](https://www.city.tsukuba.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/000/883/ryoukinhyou10.pdf)
- ・つくば市 | 下水道使用料  
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kurashi/kankyo/suido/setsuzoku/1000919.html>
- ・土浦市 | 市営住宅一覧  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page002158.html>
- ・土浦市 | 土浦市の高齢者人口・高齢化率  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page002618.html>
- ・第2回土浦市公共施設等再編・再配置計画策定委員会の結果について(令和4年8月19日開催) |  
<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page017639.html>
- ・土浦市公共施設等総合管理計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1544680396\\_doc\\_3\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1544680396_doc_3_0.pdf)
- ・令和4年度土浦市保育利用案内  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1603958747\\_doc\\_22\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1603958747_doc_22_0.pdf) (tsuchiura.lg.jp)
- ・公立保育所民間活力導入実施計画  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1463706697\\_doc\\_22\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1463706697_doc_22_0.pdf) (tsuchiura.lg.jp)
- ・公立保育所民間活力導入実施計画【後期計画】  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1621298367\\_doc\\_212\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1621298367_doc_212_0.pdf) (tsuchiura.lg.jp)
- ・土浦市公共施設跡地利活用事業に係る利活用事業候補者の選定結果について  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1538125252\\_doc\\_10\\_0.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1538125252_doc_10_0.pdf) (tsuchiura.lg.jp)
- ・第2期土浦市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン  
<[8E9197BF87552D315F91E682518AFA937989598E7382DC82BF814582D082C6814582B582B282C6916E90B68175906C8CFB837283578387839381768169916688C4816A2E786477](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/8E9197BF87552D315F91E682518AFA937989598E7382DC82BF814582D082C6814582B582B282C6916E90B68175906C8CFB837283578387839381768169916688C4816A2E786477)> (tsuchiura.lg.jp)
- ・2020 つちうらこどもプラン 第4章 教育・保育事業・地域子ども・子育て支援事業  
[https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1593155064\\_doc\\_22\\_6.pdf](https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1593155064_doc_22_6.pdf) (tsuchiura.lg.jp)
- ・いばらき・土浦・保育男児死亡 人員配置、施設従わず行政、厳しい措置遅れる。茨城新聞。2022-8-2, 茨城新聞クロスアイ, 【茨城新聞】茨城・土浦・保育男児死亡 人員配置、施設従わず 行政、厳しい措置遅れる (ibarakinews.jp), (参照

2022年10月13日)

・地方自治法における不動産の有効活用の可能性 | 日本総研

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=5650>